

第一百六十六席 田邊南龍口演

A black and white illustration of a Native American man in traditional dress, including a fringed garment and a moccasined foot, standing in a wooded area. He is holding a bow and arrow, looking down at a small animal on the ground.

面の猛火になつて全焼となつてしまひました。然し普請をするのに急ぎはございせんから家の普請も出費を、此の夏の十月のこの山水が押して参つて村内は大變な騒ぎ、寺々では鐘を撞く女子でございしは泣叫ぶ、前代未聞の大騒ぎでございまして、是が爲に吉右衛門所持の田地田畑は皆水の爲に流してしまひました、吉右衛門は驚いて吉火事の爲に家は全焼水の爲に田畑を流してしまつたがソレ禍が災夫其賊とはあるまいと思つて居る。

石 小島 吉尾商店
 京坂本町二丁目 電話二四八四

してどうも其の病に罹つたが、佐吉太郎は殺してしまひました、今では以前と變つて見る影もなく吉右衛門は榮耀でしまひましたが、死し氣なき人何とも思はない、日頃より山鯨を好む處から鯨砲を擲いて行山へ小鳥を射に参りました、向うに雄雉が一羽下りて居たから吉右衛門は喜んで持てる鐵砲直しくズドンと一發射放して物の美事に右の雄雉を射止めた、しめたかと思つて吉右衛門「バラ〜」と其處へ來つておの雄雉を引立て見ると、雄雉にはあらで鶴でありましたからハツと驚き四邊を睨みました。

六月六日九星
 拜四月十七日巳卯
 本令三鼎東周友明

ルニテサツ 特製品
 △十箇四十錢B十箇六十錢變形一個
 廿五錢女用一個八十錢一月經帶一個
 七錢甘用一個一兩對一兩七分用一個
 料要送材料振東京城三二五番代用一個
 京城黃金町三山田文殊堂藥房

星通第大報一御聖の管轄 (九四八七) 本局 店商川西屋江近(わき) 角橋本日京東 蔭花、素壘、國滄座、具夜、禪友、ソリスモ、帳蚊濱本、やかしなめいぬ印橋本日

齒質の軟かい
御婦人の齒の養生には
粉末最微の

才一止磨

完全消毒

萬歲齒刷牙子

二つをお使ひなさるか何なり
申し御座います。



[illegible][illegible]

大正六年新賀字獲得後集
 京市芝園町十一番地
 私立 認可
日本簿記專修學校
 手帳落んとするより北
 京より同地東京商會は資本百萬圓の

新北龍川郡に於ける水利事業
水道敷設―――土地土木局長談

▽其の橋運熟 し具體的の
 菜も成りたるを以て多分大正七年度
 八月を以て 竣工し七

江を導きて灌漑を企てたるもの少

して工を起したる爲め肉眼にて土

て六千七百人の市民に
坦なるが如くなれど測量の結果は
路十里の間千百間の隧道が設けら

花
賣
 四日大平町通りにて



馬城と洛陽

各候補者の運動愈々活氣立つ

加へた▲三日の日曜
 日にゐるだらうからと
 も其の全部の機まはり
 だ▲但し銀行會社側から
 一人は出

● 與へて珍談も可なりある ▲ 其内深
● 澤氏對土地調令局などは大分滑稽

でも留守でした、實際
幾十票か必らず握めると云ふ宣言

出たいと云ふ點にありはせぬかと云ふ人もある、成程そんな人もあらう

しい結果、或る方面で
物品を贈受し、投票の
退出したさうだ▲そんな事實があ

和次郎君、舊龍山から大村百藏
山次郎の臣氏を用ひたつた
治町の小川金太郎氏の起たるた

如く京城連の切り込み
 危くはないか▲三人の
 でもない、ふ事だが、
 或は間隙になつて一混
 一人二人怪しい向がな

は三名を出す事になる▲會社銀行團
京城黃金町二丁目居住休職海軍大

獸醫診断の結果、狂犬病に罹つた。大膽な仕方である、時には

防組三十五名及び村民百五十餘名、
 腐に焼かれて火勢猛烈となり、新倉消
 ないにしても腐蝕物を食つて赤痢

斯うした内に家人の隙を覘つて居るものと見て差間へがない、元より

を焚きたる結果燦突熱して草屑根に
宇も解せぬ殆ど野性の色彩を帯

せられ四日拘引せられ
といふ事である、尙保護者があつ

京都府伏見町長櫻井利三郎氏は選舉
違反にて四日拘引收監せられたり
なく、時に狡猾な親になると子供

傳習部支部を京城にて
か計へ切れぬ、當に地人の居住者

ふりやうせうはん

三する厄介な保護者
を規ふ賊よりも多いの
難ぎ倒され御大鈴木立見
孤軍奮闘

▽最も簡単に
而も最も拙
男外氏は赤十字朝鮮本部主幹大橋次雄氏 夫妻
線約にて仁川郵便局長一橋力氏長女みち子

新機械發見し茲に一ケ年

京城長谷川門八十四番地
取次所 鮮工業社代理部

返信料封入 照會せは 無代 個人説明
ある人資金を有し 事業なき人に紹介

電記二三三番
京城本町二丁目

新音書

移轉席

會勉強可致候に付舊座
京城府御成

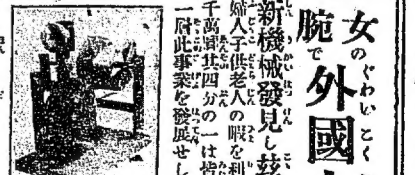
貧血、虚弱、

遶りに選獎せられ且つ
賞狀を辱ふせるは以て

博多屋 本店
資 當銀行預金

西村商會
 電話
 萬百

女の外に、くじん
腕で外國人より**五百萬圓**
新機械發見し、茲に一年有利な家庭的事業を紹介す
婦人子供老人の暇を利用して製造されたマニラ麻、田の輸出に可成二
千萬圓、其四万の一は皆工賃として我國に落ち、東洋の米をばりつゝ、一
附此事業を發展せしめんと苦心しつゝ、ある日、東洋の米をばりつゝ、一
附此事業を發展せしめんと苦心しつゝ、ある日、東洋の米をばりつゝ、一



女の外に、くじん
腕で外國人より**五百萬圓**
新機械發見し、茲に一年有利な家庭的事業を紹介す
婦人子供老人の暇を利用して製造されたマニラ麻、田の輸出に可成二
千萬圓、其四万の一は皆工賃として我國に落ち、東洋の米をばりつゝ、一
附此事業を發展せしめんと苦心しつゝ、ある日、東洋の米をばりつゝ、一

印刷インキ製造
櫻井商店
初田活版所インキ部
東京 明治町二丁目
大阪 西丁

荷著譜音新月六の兼侍御
義大夫 朝顔日記
同 伊賀越
同 先代萩
同 文虎
清元 白虎
新派 春の船
落語 遊山一谷
江州音頭

移轉廣告
今般小店儀業務擴張に伴ひ從來の家屋陝隘を
感じ左記に新築中の處愈々落成致し去る一日
移轉仕候尚又新式の製菓機數台増設致し會一
會勉強可致候に付舊倍の御引立偏に奉願上候
キヤラメル發賣元 藤製菓所
京城市御成門五十五番地
電話二二三二番

天然南豆
發賣元 東長井越作
代理店 大阪 田邊五兵衛
貧血、虛弱、食慾不振、神經衰弱、產婦養食、胃腸病後後養世に用ひて卓効あるは醫界の權威日本聯合醫學會は特に本品を畏き透りに選定せられ且つ賞狀を賜ふるは以て是が信用と眞價を下するに足るべし

資本參百萬圓
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一
般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
東京府東門通二丁目十四番地
株式會社 **漢城銀行**
長男 韓李允
專務取締役 韓相允
電話 三六四六番 三三九番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

